

平成28年11月17日

総務文教常任委員会会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 平成28年11月17日  
開会 10時30分 閉会 10時46分
- 2 場 所 幕別町役場 3階会議室
- 3 出席者 委員長 寺林俊幸 副委員長 野原恵子  
委員 板垣良輔 小田新紀 岡本眞利子 千葉幹雄  
議長 芳滝仁
- 4 傍聴者 荒貴賀 内山美穂子 小島智恵 中橋友子 谷口和弥  
藤原孟 小山繁樹 眞尾記者(勝毎) 稲塚記者(道新)
- 5 事務局 事務局長 細澤正典 議事課長 澤部紀博 係長 佐々木慎司
- 6 審査事件
  - 1 付託議案の審査について  
(1) 陳情第6号 忠類振興公社経営に関する陳情書
  - 2 その他
- 7 審査結果
  - 1 付託議案の審査について  
(1) 陳情第6号 忠類振興公社経営に関する陳情書 別紙
  - 2 その他  
10月6日～7日開催の道内先進地視察調査の報告書について全委員で内容確認。  
現在の内容で議長に報告することに全委員了承。

総務文教常任委員会委員長 寺林俊幸

## ◇審査内容

(開会 10:30)

- 委員長（寺林俊幸） ただいまから、総務文教常任委員会を開会いたします。  
諸般の報告を事務局長より申し上げます。  
議会事務局長。
- 事務局長（細澤正典） 本日の総務文教常任委員会ではありますが、9月から委員会のインターネット中継の試行を行うという形でお話ししておりましたとおり、本日のこの陳情審査についても、委員会のインターネット中継の試行を行うことで考えております。  
皆さんのお手元に留意点をお配りしてございますとおり、必ず発言の許可を得てから発言していただきたいこと。それと、マイクの押し忘れにご注意いただきたい。マイクの押し忘れがあった場合は、委員長の注意喚起のピンポンというボタンを使って注意喚起を行っていききたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。以上です。
- 委員長（寺林俊幸） これで諸般の報告を終わります。  
本日は、前回の委員会で継続審査となりました陳情の審査を行います。  
陳情第6号、忠類振興公社経営に関する陳情書を議題といたします。  
本陳情について各委員のご意見を伺いたいと思います。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。小田委員。
- 委員（小田新紀） 前回、継続審査ということで、また改めて陳情内容を精査したところ、陳情者の町の税金を大事に、ということでの思いや、忠類振興に対する思いという部分については、同じく思いを共有したところでもあります。  
ただ、この陳情の文章のところどころの箇所におきまして、実際、一つの企業の運営に関わる部分であったりとか、議会として対応できないという部分もあるというふうに考えております。そういった部分で全てこれをそのとおりでということには、ならない部分もありますが、思いについては理解した上で、より慎重な精査が必要だというふうに感じております。以上です。
- 委員長（寺林俊幸） 野原副委員長。
- 副委員長（野原恵子） 今小田委員も発言しておりましたけれども、この忠類振興公社、そのことに対する赤字を出している、これからの運営をどうするのか、その思いは三つの合同委員会で審議しましたので、そういう中でも、やはり様々な意見がありまして、心配しているのは、そのとおりでと思います。  
しかし、この陳情書の中には議会に求めるものではない部分もありまして、そのところは、やはりこの総務文教常任委員会では審議できない部分も中にはあります。  
それと、もう一つアンビックスの問題では、まだ正式に決まっているわけではありませぬので、そこを議会で視察していくという、こういうところはまだまだ検討していかなければならない部分があるのではないかと思います。  
また、この指定管理のことは12月の議会ではじめて提案される内容でもあり、慎重にやはり審議していかなければならないのではないかとこのように思っております。以上です。
- 委員長（寺林俊幸） 岡本委員。

○委員（岡本眞利子） 私も今2名の委員が言われたとおりでなというふうに感じるころでありまして、やはり、陳情者の思いはすごく、言われていることがよくわかるのですが、やはり、私たち議員が介入できる部分とそうでない部分が示されているのではないかなと思いますので、もちろんアンビックスに対する思いも全部が同じ状況ではないので、ほかができたのに幕別はというようなことも考えるわけにはいかないと思いますので、本当に陳情者の思いは受け取られるところだなと。しかし、しっかりとした精査が重要ではないかなというふうに感じます。以上です。

○委員長（寺林俊幸） ほかにありませんか。千葉委員。

○委員（千葉幹雄） 大体、同じような考えなんですけれども、忠類の振興公社につきましては、ご案内のとおり3委員会合同で忠類地区という大きな視点に立って、どうあるべきかということをやった5回ほどやってきたわけでありまして。

陳情者の願意、これは当然我々も理解はしているところでありまして。何とかアルコが健全経営、そして、町民の利用しやすい施設になって、指定施設そのものが大いに繁栄していくということが我々の願いでもありますから、そういった意味では陳情者とも思いは同じだろうというふうに思います。

ただ、この陳情書を見ますと、お伺いをしますとかと、非常に質問する部分が多くあって、細かく言えばあれですけども、いずれにいたしましても全体を読んだ時には、やはり、アルコをしっかりしなければ駄目だよ、というようなことが思いとしてつづられているんだろうというふうに、私はそう理解をしているところでありましてけれども、いずれにしても、この願意を否定するものでは私はありませんけれども、結論につきましては、まだ皆さん方の意見を出しながら、慎重にというか、それなりのタイミングで結論を出していけばいいのだと思いますけれども、願意については、先ほど申しあげたように理解をするところでありまして。

○委員長（寺林俊幸） ほかにありませんか。

意見がないようですので、これより討論に入ります。

陳情に反対する討論はありますか。千葉委員。

○委員（千葉幹雄） この陳情書を読み解くと先ほど申しあげましたように、このまま願意妥当とするのも、いささか問題ありかなというふうに私は思っております。ということは、まだ指定管理、公社も決まっていなわけですから、その先も当然そういうことですね。ですから、そういったことをこの場で単に採択ということになれば、これまたいろいろと問題があるんだろうというふうに思うんです。

ですから、私の当然個人の考えですけども、この願意については妥当だと。ただ、この全部すんなり採択ということではなくて、この趣旨については私は理解できるし、こうあるべきだと、しっかりして欲しいという思いは一緒、共有できるのだろうと思うのであります。

それで、わたしは過去にも例がありますけれども、趣旨については理解をするということで、趣旨採択ということが、私は一番妥当ではないかなというふうに私個人はそういうふうに思っております。

○委員長（寺林俊幸） ほかに。討論ということではありませんけれども。野原委員。

○副委員長（野原恵子） 今千葉委員も発言しましたように、やはり議会報告会の中でも、

この忠類振興公社に対する町民の声も聞かれております。

陳情された方も、赤字経営している、そういう忠類振興公社に対する心配、これは皆さん抱える問題でもあると思います。けれども、やはり忠類のいままでの、この村政の中で忠類の振興公社の果たしてきた役割も十分承知しているところでもあります。けれども、経営の面でどうなのかという心配だと思うのです。ですから、陳情者もそういう思いから陳情を提出してきたという、そういう思いだと思うのです。ですから、陳情の中身そのもの一つ一つ審議していくというふうになれば、やはり、この委員会にそぐわない部分もあるというのは、最初、私発言いたしました。そういうことも踏まえまして、趣旨には賛成できますという、そういう思いでおります。以上です。

○委員長（寺林俊幸） ほかにありませんか。板垣委員。

○委員（板垣良輔） 千葉委員、そして、野原副委員長と同じ気持ちです。

ここに書かれていることが、行政運営上の手続きの制約でいろいろと難しい面が多々あるということで、趣旨には賛同できる趣旨採択がふさわしいと思います。以上です。

○委員長（寺林俊幸） ただいま、委員の皆さんから趣旨採択とのご意見がございました。

ここでお諮りいたします。陳情第6号、忠類振興公社経営に関する陳情については、趣旨採択とする意見がありますので、最初に趣旨採択についてお諮りし、決定にいたらないときは、採択、不採択についての採決を行いたいと思います。

これに異議はございませんか。

（異議なしの声あり）

○委員長（寺林俊幸） 異議なしと認めます。

それでは、採決を行います。

陳情第6号、忠類振興公社経営に関する陳情書については趣旨採択とすることにご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○委員長（寺林俊幸） 異議なしと認めます。

したがって、陳情第6号、忠類振興公社経営に関する陳情書については、趣旨採択とすることに決定いたしました。

なお、本件の報告書につきましては、委員長、副委員長に一任していただきたいと思っております。よろしいでしょうか。

（よいの声あり）

○委員長（寺林俊幸） それでは、そのようにさせていただきます。

これで、本日の委員会に付託されました議案の審査は終了いたします。